

令和元年度

高高・前高合同小学生・保護者対象学校説明会

次第

〔日 時〕 令和元年8月20日（火） 13:30～15:30

〔会 場〕 群馬音楽センター

【司会・進行：高崎高校 生徒会】

1	開会・オープニングセレモニー	(13:30～13:50)	高崎高校マンドリン部 前橋高校大道芸部
2	主催者挨拶	(13:50～14:00)	前橋高校校長 大栗 勇一
3	高高・前高の男子校としての 特徴について	(14:00～14:15)	高崎高校校長 加藤 聡
	<休憩 15分間>		
4	両校の教育活動について (両校生徒会) 及び質問への回答 (申込時のアンケートに基づく)	(14:30～15:30)	高崎高校生徒会 前橋高校生徒会
5	閉会	(15:30)	

高高・前高合同説明会(2019.8.20)

今日は2019(令和元)年8月20日

皆さんが、高高(高崎高校)・前高(前橋高校)に
入学するのは、

(6年生) : 2023(令和5)年4月 → 4年後

(5年生) : 2024(令和6)年4月 → 5年後

小学校卒業→市町村立中学校→県立・市立高等学校

(入学試験等を経て)私立中学校→私立高等学校

**(適性検査等を経て)県立・市立の中等教育学校等
(中高一貫校)**

高崎高校と前橋高校をすすめる理由

- ・ 素晴らしい仲間と充実した学校生活を送ることができる。
- ・ 勉強でも部活動でも大いに実績を上げることができる。
- ・ 総合的な人間力が身につき、将来活躍できる。

両校の進路状況

年度	東京大学合格者数			国公立大学医学科合格者数		
	県内高校計	高高・前高	割合(%)	県内高校計	高高・前高	割合(%)
平成29年度	24	18	75.0	67	30	44.8
平成30年度	33	23	69.7	78	42	53.8
平成31年度	20	14	70.0	65	36	55.4

※これ以外の各大学のデータは、両校の「学校案内」をご覧ください

両校の部活動数と加入率 (%)

種類	高崎高校		前橋高校	
	部数	加入率(%)	部数	加入率(%)
運動部	19部	53.1%	20部	65.2%
文化部	24部	40.2%	23部	38.2%
その他	1部	28.3%		
合計	44部	121.6%	43部	103.4%

▶ ※運動部 硬式野球部・サッカー部・陸上部・バスケットボール部・剣道部等運動を中心とした部活動

▶ ※文化部 運動部以外の室内を中心に活動する部活動(吹奏楽部・マンドリン部・放送部等)

群馬県総合体育大会(5月)男子総合成績

順位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
1位	前橋高校	前橋高校	育英高校
2位	育英高校	育英高校	前橋商業
3位	太田高校	太田高校	前橋高校
4位	前橋商業	前橋商業	太田高校
5位	桐生高校	農大二高	高崎高校
6位	高崎高校	高崎高校	樹徳高校

高崎高校と前橋高校の歴史

高崎高校 創立1897(明治30)年
創立122年 卒業生総数32,221名

前橋高校 創立1877(明治10)年
創立142年 卒業生総数35,553名

皆さんの入学を待っています！

▶ 高崎高校と前橋高校の両校は、
現在の小学校6年生と5年生の男子児童が、
4年後(5年後)に入学することを心待ちにしています。

心待ち：実現すればよいと心の中で待っていること。

【事前質問に対する回答】

Q1：大学受験のためのカリキュラムについてはどのように知ることができますか？

高高：大学受験の仕組みについては、高校1年生の時から段階的に生徒・保護者に提供していきます。

前高：2年次より文系・理系に分け、進路希望に添った科目が選択できるようにしています。お配りしてある『学校案内』もご確認ください。なお、皆さんが高校に入学するときには、新学習指導要領の実施に伴い、教科・科目など大幅に変更される可能性があります。進路希望に添った科目選択ができるカリキュラムを編成します。

Q2：中高一貫校ができたことにより、貴校入学者のカラーに変化はありましたか？

特段の変化はありません。(高高、前高ともに)

Q3：1. 年間200名ほどが現役で進学していますが、国公立への進学者数は何名程度でしょうか？

2. 2020年より実施される「大学入学共通テスト」のテスト対策(テクニックの教授など)は学校としてどの程度行うのでしょうか？

高高：1. 2019年3月卒業生の国公立大学への進学者は166名(53.5%)でした。

2. 「大学入学共通テスト」については、授業をきちんと受けていれば、十分通用するという考え方をしています。その上で、必要に応じて、授業や補習で対策をしていきます。

前高：1. 2019年3月卒業生の国公立大学への進学者は157名(49.2%)でした。

*詳細は、本校Webページ内、[進路] → [進路概況] をご覧ください。

2. 「大学入学共通テスト」に対応した、思考力等を身につける授業を実践しています。また、試行テストを分析し、各教科ごとに対策を立てています。

*詳細は、本校Webページ内、[教育課程] → [「大学共通テスト」に向けた対策について] をご覧ください。

Q4：指定校推薦はどここの大学があるのか、具体的に教えていただけるのでしょうか？

※指定校推薦の状況は、年々変化するという事をご承知おきください。

高高：今年の3月に卒業した学年については、次の大学をはじめとして多数ありました。

早稲田大学 慶應義塾大学 上智大学

そのうち実際に指定校推薦を利用した生徒は1名でした。

前高：今年の3月に卒業した学年については、早稲田大学、慶應義塾大学をはじめとして多数ありました。実際に指定校推薦を利用して進学した生徒は少数です。

Q5：受験方法を教えてください。推薦？A日程？B日程？

高高：入学試験につきましては、毎年秋に発表される「入学者選抜実施要項」をご覧ください。前期選抜および後期選抜の内容・配点が記されています。

前高：前期選抜は、総合問題・面接・調査書を基に、段階選抜を行っています。後期選抜は、学力検査・調査書を基に選抜しています。詳細は、本校の「入学志願者案内」に詳しく記載していますのでご覧ください。

Q6：合唱部に興味があります。部員は現在何名いらっしゃいますか？ またどういった場で活躍されていますか？

高高：合唱部の部員数は、1年2名、2年5名(3年1名)で活動してきました。定期演奏会をはじめ、学校行事やPTA総会のオープニングや翠巒祭のステージ発表で活動しました。今年は夏休み中に、佐賀県で行われた全国総合文化祭での発表の機会もありました。

前高：部員は、1年1名、2年7名、3年3名の計11名です。主な活動は、県合唱コンクール(昨年度は県内男子校としては初の関東大会に出場)、定期演奏会「優曇華(うどんげ)」(音楽系部活動の合同演奏会)、県総合文化祭・全国総合文化祭、他の高校とのコラボなどです。

Q7：生徒はどのような手段で通学していますか？ 自転車か親の送迎ですか？

高高：自転車・徒歩で約70%、電車・バスで約30%、送迎は0.3%です。

前高：ほとんどの生徒は自転車(電車+自転車を含めて)を利用しています(95%)。送迎はほとんどいません(1%)。なお、電車(JR、上毛電鉄)を利用している生徒は約34%です。

Q8：前高、高高ならではの部活動についてはどのようなものがありますか？

高高：高崎高校は文武両道を柱としているので、高崎高校ならではの運動部というのはほとんどありません。関東大会やインターハイへの出場回数が多い運動部としては、バスケットボール部、バレーボール部、陸上競技部、ソフトテニス部、水泳部、山岳部、柔道部、相撲部、軟式野球部があります。また、文化部では、数学部、物理部、化学部、生物部、地学部、英語部、放送メディア部、料理研究部、SF部などに特徴があり、なかでも和太鼓部は前橋高校には存在していません。

前高：前橋高校は文武両道を奨励しており、ほとんどの生徒は部活動に所属しています。特徴的な部活動としては、水球部(県内で3校)、少林寺拳法部、ハンドボール部、クイズ研究部(昨年・本年度高校生クイズ全国大会出場)、ディベート部などがあり、特に大道芸部は全国的にも珍しく、地域の活動などに呼ばれて演技をしています。関東大会やインターハイへの出場回数が多い部活動としては、剣道部、水泳部、弓道部、テニス部、山岳部、卓球部、囲碁部、将棋部などがあります。

Q9：大学受験に向けた英語外部検定試験について、高校としてどのように取り組んでいますか？また、卒業時にはどの程度のレベルに達していますか？

(高高、前高ともに)

現時点では、費用・取り組みやすさの観点から、①GTEC ②英検 を強く勧めています。その上で、今後、試験の動向について幅広く情報を集め、対応していきます。スピーキング力の育成を含め、本校の授業の内容を身につけていれば、外部試験を資格として必要とするどの大学にも対応できると考えています。最低でも、全員の英検準二級以上取得が目標です。

【参考：昨年度のアンケートに基づいて】

Q10：進路指導や大学受験への取り組みはどのように行っていますか？

高高：基本的には高高の授業をしっかり受ける中で、難関大学の受験に対応できる学力を培っていますが、さらに応用力を伸ばしたり、基礎力を固めたりする目的で、早朝補習や土曜補習を行っています。長期休業期間にも補習を行ったり、学習合宿を実施しています。3年になると志望大学別に補習や添削指導を行っています。塾へ通っている生徒は、全体の約4割程度で、そのほとんどが学習場所と時間の確保のために利用していると思われます。

前高：詳しくは『学校案内』p.10に記載されていますのでご覧ください。補習・添削指導などの「学習支援」、講演会・大学見学会などの「進路行事」、面談・志望校検討会などの「進路指導」を、計画的に実施しています。塾へ通っている生徒は、全体の約5割程度です。

Q11：高高、前高にしかない学習スタイルや魅力はありますか？

高高：高高では長時間の自学自習スタイルを身につけてほしいと願って、3年次に「マラソン学習会」という行事を組んでいます。土曜日の朝8時から勉強を開始して、終了は夜の8時。休憩を適宜挟みますが、10時間の学習に挑戦します。年に2回行われるこの行事で自分なりの長時間学習スタイルを身につける生徒もいます。高高には、朝の6時半から夜の9時まで開放されている自習室があります。さらに、2年次に「先輩、教えてください！」という職場体験学習があります。高高の卒業生が経営したり、勤務している49箇所の職場(令和元年度実績)に、2年生全員が班ごとに分かれて訪問し、実際の仕事の業務を体験する企画です。実際の仕事の大変さとやりがいを理解する中で、学校で勉強することの意味を考えるよい機会となります。

前高：前高では、生徒の主体的な学習行動が身につくよう、校外での活動の奨励、大学教員による講座開設(土曜AL)等を行っています。また、朝学習の奨励、自習室の開放(早朝・放課後)、3年次個別添削指導、3年冬季集中学習会などで、生徒の自主的な学習の機会を設定しています。